

学習から制御まで独立で

アエの

日記 107



婚活パートナー代表

分かるんですが、また会いたいという気持ちにはなれなれなく、この方も同じ理由のお断りでした。

男女とも当たり前ですが、好きという感情が

んとも仮交際に進みませんでした。

仮交際期間は1カ月なのですが、2週間がたつ頃作山さんと話し合っ



エイシングのAI技術を開発した金准教授

回万博は、日本の経済活性化や国際競争力を高めるIoT(モノのインターネット)、AI、ICT(情報通信技術)など最新の技術、サービスを提供する若

手企業家を選抜するもの。全国11地区13大会を勝ち抜いた8社・チームから、同社が頂点に輝いた。岩手大発ベンチャーで大賞は初めで、同社は「セールス

フォース賞」「キヤナルベンチャーズ賞」も受賞した。

同社は、DBT販売を主軸に2016年12月に設立。17年にアップアクセルベンチャー

起業家万博大賞の受賞に

金准理工学部 准教授が開発 大船渡の漁船に導入へ

岩手大発ベンチャー企業、東京都のエイシング(AI Sing、出澤純二社長)が3月8日、総務省などが主催する起業家万博で大賞にあたる「総務大臣賞」などを獲得した。評価されたのは、同大理工学部システム創成工学科の金天海准教授(39)＝同社取締役CTO＝が開発した新型AI(人工知能)「DBT(データ・バイナリ・ツリー)」で、学習、予測、コントロール、応用までAI単体で行う世界初のAIプログラム。電気、自動車メーカーなどとの協業が進んでおり、三陸の漁船、調査船に用いられる。

エイシング(ベンチャー)の新型AI

解析、予測、機能のコントロールまで製品内で完結する。学習内容を機械の動作に反映させるには数式の入力も必要だが、DBTはそれも自動で行う。

現在、国内を中心に約20社と共同開発を進めており、人の出入りが多い場所の空調設備、建設機械、自動車、ドローン、化学薬品の調合、火災報知機、工作機械、ファクトリーオートメーション(工場の自動化)などへの導入が計画されている。大船渡市のウニ・アワビ漁の漁船に用いる事業もあり、福島第一原子力発電所近くではDBT搭載の放射線量の調査船が、年度内に稼働する。

金准教授は、早稲田大理工学部機械工学科の大学院生のころから、ロボットを対象としたAIの基礎研究を進めてきた。ロボットが学習機能を備えてあらゆる状況下に対応できれば、人の労働力を代替すると考えたこと

振り返り、08年の論文で発表したDBTがようやく実用化に結びついたことを喜ぶ。DBTは、いわば人間の小脳で、運動機能を操る機能のみ。今後は視覚や聴覚、言語に対応する高度なアルゴリズム

機能を増やして人の脳に近づけ、少子高齢化の対策となる労働力に近づきたいと展望した。

新入社員学びの一步 パワップ総研「盛岡で合同研修



研修と名刺交換を続ける新入社員

今年度厚内の中小企業9社に入社した新入社員に対する合同研修が12日、盛岡市清水町の盛岡商工会議所会館で開かれた。パワアップ総合研究所(高橋慶太社長)が開催したもので、美登や電気設備、測量設計など多様な業種の新入社員27人が一堂に集い、ビジネスマナーなど社会人としての基礎を学んだ。

参加者はパワアップ総合研究所の賞原尚美専務から、仕事をすすんで必要な姿勢などを学んだ。



ビッグルーフ滝沢に植樹 凍りにドウダンツツジ36本

滝沢フアイオンズクラブ(柴田まよ子会長、正会員18人・家族会員17人)は12日、滝沢市下橋飼のビッグルーフ滝沢・駐車場に植樹をした。22日の「国際母なる地球デー(アースデー)」を前に実施。柴田会長らは「環境づくりのため、少しでもお役に立つことができれば」と、36本の苗木を植えた。

賞原専務は人と接する入り口となる「あいさつ」について「自分の心を開き、相手の心は追えるもの」と解説。この他、話し方や立ち居振る舞い、座席の上座と下座の関係なども指導した。

座学に加え、実技も行われ、参加した新入社員は、会釈、敬礼、最敬礼の違いや複数人での名刺を交換する際の手順などを実践した。

地熱エンジニアリング(滝沢市)に入社した飯田大貴さん(25)は「就職活動の時には深く考えなかったマナー、特に名刺の受け渡し方について学べた。会社ではさまざまな相手と会うので生かしたい。将来は仕事だけでなく、マナーも身につけた社会人になりたい」と語った。

パワアップ総合研究所の高橋社長は「学んだことを生かし、自信をもって会社で活躍してほしい」と期待した。